

## 「第1回（仮称）大井川藤枝スマート インターチェンジ地区協議会」を開催

7月26日（月）に市役所大井川庁舎において、東名焼津・吉田間への新スマートインターチェンジの設置を目的に、「第1回（仮称）大井川藤枝スマートインターチェンジ地区協議会」が開催されました。

これまでは、静岡県が事務局となり運営を行ってきましたが、新たに連結道路管理者である焼津市が事務局となり、運営を行うこととなりました。

この地区協議会は、焼津市や藤枝市、島田市をはじめ、国や県、中日本高速道路(株)の関係機関によって構成され、会長の清水市長が、「新インターチェンジの効果は志太地域全域に及ぶと考えている。早期供用に向けご協力をお願いしたい」とあいさつ。

地区協議会では、事業の経過及び地元説明会の状況報告のほか、スマートインターチェンジ実施計画書（案）、今後の予定などについて確認しました。

また、地区協議会では、スマートインターチェンジ供用後も、整備効果や安全性、採算性について、定期的にフォローアップを行うこととなりました。

今後、国の手続を経て、一日も早い供用を目指し、事業を進めていきます。



※連結道路管理者とは、スマートインターチェンジに接続する道路の管理者をいいます。